



第5期宮前区区民会議 第5回企画部会（拡大版）

みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう

平成27年2月16日（月）13:00

宮前区役所4階第2会議室

次 第

- 1 第4回企画部会（拡大版）の審議内容報告
- 2 区民会議フォーラム・次世代部会の企画内容について
- 3 区民会議フォーラム全体について

開催時間

会場

ゲスト

参加呼びかけ対象

委員・事務局の担当

4 その他

5 事務局より：今後の予定の確認

- (1) 3月15日（日） 区民会議フォーラム
- (2) 適宜開催 第5回企画部会（中間報告、フォーラム調整）

※ 当初、区民会議だより第30号は、区民会議フォーラム企画内容の詳細として2月下旬発行を予定していましたが、現時点で詳細内容が決定していないため、発行に間に合わず、見送りいたします。3月下旬に30号を発行する予定です（内容未定）

配布資料

第4回企画部会（拡大版） 摘録



第5期宮前区区民会議 第4回企画部会（拡大版）

【摘録】

日時：平成27年10月16日(木)18:00～20:20

場所：宮前区役所4階第4会議室

【進行：川畑部会長】

出席委員：川畑、宮崎、川田、太田、笹川、田辺、細谷、青柳（計8名）

※第4回・第5回企画部会は、区民会議フォーラム企画内容の検討のために拡大版として、委員全員を対象に開催。
ただし第4回は、(仮称)高齢者部会の審議内容が充分でなかったため、高齢者部会を中心に進めることとした。

0 先進事例紹介VTRの鑑賞

検討に先立ち、地域の見守りや支え合いについて、以下の集合住宅における先進事例の紹介VTRを視聴した。

- ① 北海道札幌市厚別区 第二もみじ自治会 黄色いエプロンによる見守り活動
- ② 横浜市栄区公田町団地 NPOお互いさまねっと公田町団地 と 交流サロンいこい

1 部会名について

(仮称) 高齢者部会の正式部会名について、川畑部会長案を基に審議。以下の様に決定した。

部会名：誰もがくらしやすいまちを目指す部会

【主な意見】

- ・地域包括ケアシステムや地域の見守り・支え合いの対象は高齢者に限らない。子どもや障がい者なども対象とする。高齢者だけを部会名で強調しない方が良い。

2 部会の取組みの方向性

部会の目的、目指す方向性について、川畑部会長案を基に審議。以下の様に決定した。

部会の目的：誰もが住み慣れた地域や、本人が望む場所で、安心して暮らし続けることができる、宮前区独自の「公民連携型地域包括ケアシステム」づくりを目指していく。

目指す方向性：地域で誰もが気軽に集い、交流し、支え合える場所の創出を目指す。

【主な意見】

- ・宮前区に転入してきたばかりの人、若い世代なども含め、住民全体を巻き込んだ地域で支え合うしくみを目標としたい。

3 区民会議フォーラム開催にむけて

意見交換の結果、部会としての企画案を以下の様に決定した。この内容は、2月16日（月）開催予定の第5回企画部会（拡大版）に結果を報告し、審議する。

企画名：宮前区版「公民連携型地域包括ケアシステム」を考えよう！

動員・声掛け団体：以下の団体・関係者に直接声掛けし、参加をお願いする。チラシを配布。

全体で10～30人程度の参加を想定。

- ・社会福祉協議会（区・地区）… 民生委員、児童委員
- ・町内会・自治会
- ・包括支援センター
- ・区民会議OB

企画内容：

- ① これまでの部会審議経過の報告（コミュニティカフェ見学会を中心に）
- ② 事例紹介 (1) 土橋カフェ 関係者に伺う（老門氏・明石氏に依頼）
(2) 横浜市栄区公田町団地 VTRによる紹介
- ③ テーブル討議「地域で気軽に集える場、支え合える場をつくるには？」
 - ・参加者を6～10名程度のグループに分けて、意見交換
 - ・各テーブルには、区民会議委員&事務局が進行・記録役として着く

※①&②で30分程度、③は1時間程度の時間を確保したい。

※（仮称）次世代部会と合同でなく、個別企画で行う方向。

その他：

- ・会場はカフェ形式で設営。一番広い会議室を使用希望。
- ・あたたかい飲み物や、お茶菓子等でおもてなしする。

4 その他の議事

- ・「土橋カフェ」の取り組みがNHKで放送予定
2月24日（火）PM10:00～、3月8日（日）AM10:00～（BS?）
内容が良ければ、フォーラムで、紹介VTRとしての使用も検討する。

5 今後の日程

第5回企画部会（拡大版） 2月16日（月）13:00～ 区役所会議室

※フォーラムの企画内容の検討、決定